

2018年1月4日

海外初の工法を採用した河川横断工事を受注

－ ミャンマーでヤンゴン都市地域の生活環境改善、経済発展に貢献－

戸田建設(株)(本社:東京都中央区、社長:今井 雅則)は、ヤンゴン市開発委員会(YCDC)から「ヤンゴン都市圏上水道整備事業 パッケージ3※1 バゴー川横断配管工事」(円借款)を約11億円で受注し、2017年11月30日に契約を締結しました。

※1:当該事業における3番目の工区の意

ヤンゴン都市圏上水道整備事業では、ティラワ経済特別区(SEZ)を含むヤンゴン都市圏において上水道施設を拡充することにより、急増する水需要に対応する上水道サービスを改善し、ヤンゴン都市地域の生活環境の改善、および経済発展に貢献することが期待されています。

1. 概要と受注の経緯

このうち当社が受注したパッケージ3は、河幅約650mのバゴー川横断部に全長974mの導水管(NS形ダクタイル管φ700mm:L=885m、T形ダクタイル管φ700mm:L=89m)を布設するものです。

本パッケージでは高度の技術と品質が要求されるため、当社の国内外での施工実績や、提案力が高く評価され受注に至りました。

プロジェクト全体図



工事概要

工事名称 : ヤンゴン都市圏上水道整備事業 パッケージ3 バゴー川横断配管工事
 施工場所 : ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市内
 発注者 : ヤンゴン市開発委員会 (YCDC)
 設計・施工管理 : (株)日水コン・Grontmij A/S 共同企業体
 請負金額 : 約11億円
 工期 : 着工後1,060日(約35ヵ月)

2. 高い技術力を要する2つの工法を採用

～アーバンリング工法^{※2}（立坑：海外初適用）及び長距離泥水式推進工法（河川横断部）

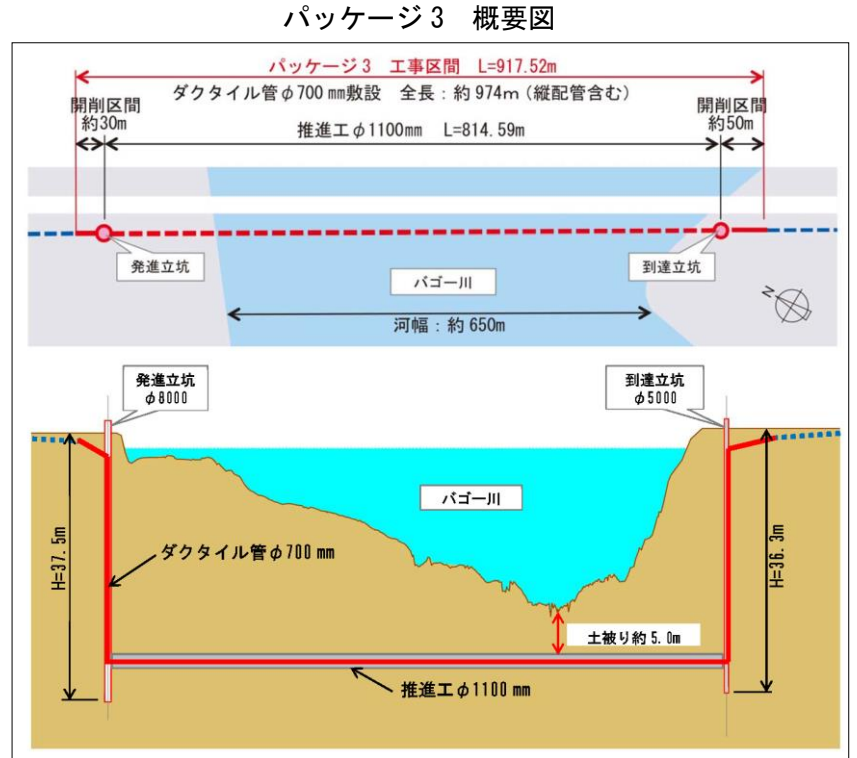
※2：リング状のセグメントを積み重ねて施工する圧入ケーソン工法。狭隘な都市の厳しい施工条件に適する。

① 立坑築造工

両岸に築造する深さ 35m 超の立坑築造工では、コスト・工程・品質面で有利となるアーバンリング工法を提案し採用されました。当工法は海外で初めての適用となります。

② 河川横断部推進工

河川最深部での土被りが5mとなる地下約 30m において、日本国内でも例の少ない約 815m の長距離泥水式推進工法（内径φ1100mm）によりトンネルを構築します。



3. 今後の展開

2016年5月に完成したヤンゴン市上水道緊急整備計画（Lot2）をはじめとする同国における施工実績から得た経験や当社が有する技術力を最大限に活用し、高い品質の建造物を完成させることで、今後とも当社の海外受注の一層の拡大に努めるとともに、同国の一層の経済発展に貢献してまいります。